

創刊号

エリマネ ニュース

ドリームハイツ地域運営協議会



◎エリマネとは

エリアマネジメントの略です。日本語では地域運営協議会といいます。噛み砕いていうと「自治会や市民活動団体がネットワークを組むことによって、地域の問題を共有化し解決策を探るプロジェクト」です。

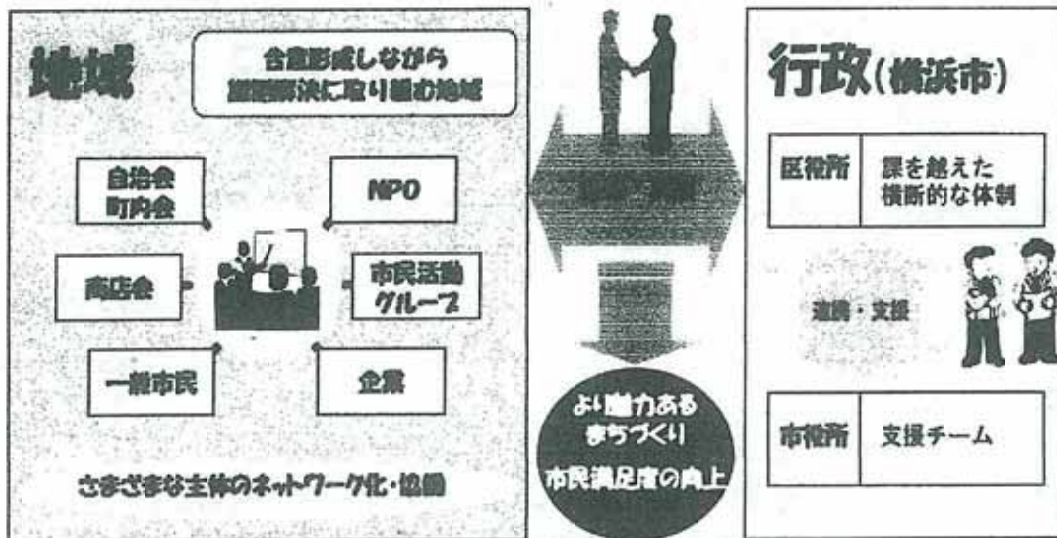
◎ 取り組んでいるテーマ

当エリアマネジメントが最初に取り組んだテーマは「2007 住民アンケート」です。横浜市から、コンサルタント、資金援助の支援と慶応大学・大江研究室のご協力により、過去の住民アンケートにない充実した内容で、ご存知のとおり報告書は、市・県ハイツ全住民約 2300 世帯に配布されました。

平成 20 年からの取り組みは、アンケート結果から重要な課題を策定し、具体的に実行することです。まず、一人暮らしの高齢者・弱者の日ごろの安全を考える「見守りネット部会」が発足し、現在、着々とその体制造りにメンバーが活躍しています。もちろん民生委員や防災隊も加わっています。

また「ビジョン部会」も結成されました。「ビジョン部会」は、アンケートの結果にみられる現在の高齢化に対応しながらも、異なる視点から将来ドリームハイツが若者にとっても魅力のある街になるためには何ができるかを考えていくプロジェクトです。いずれもボランティアや有志で構成され、横浜市の支援を受けながら実行に向けて研鑽しています。

まだ、具体的な成果を挙げるまでには到っていませんが、今後も住民皆様のあたたかいご支援とご協力をいただきたくよろしくお願いいたします。
(文責：五辻 源)



横浜市のエリアマネジメント(地域運営協議会)

◎行政が決めたやり方ではなく、地域が決めたやり方を行政が支援する。

◎互いに対等、自主性尊重、自立化、相互理解、目的共有、公開の原則を守る。

見守りネット部会の誕生

神奈川新聞のある日の記事に

「息絶えて半年間」という大きな見出しを見つけました。

横浜市の市営住宅でおきた出来事でガスの使用量0立方メートルの通知が6ヶ月分ドアポストに入れてあったということです。

エッ！ エッ！ 誰も知らなかったの！ 友達は！ ご近所は！ ガスの検針員も疑問に思わなかったの！！！！



色々な思いが脳裡を駆け巡り「60年・70年も生きてきてこんな最後があつていいのだろうか・・・」と自治会長の言葉に胸がふさがれました。

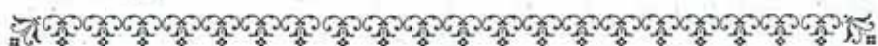
昨年、地域運営協議会が実施したアンケート項目の「日常生活における不安感を解消するために重要な取り組み」のトップにあつた「1人暮らしの高齢者の見守りや緊急連絡体制」を実現するために、昨年7月に協議会メンバーに民生委員、県ハイツ防災隊が加わり「見守りネット部会」が結成されました。今年度は

- ① ハイツ内の団体の活動を「見守り」の視点から見つめなおした。
- ② ハイツ外団地の活動を視察
- ③ 明治学院大学河合克義教授の「地域における見守り活動のあり方」の講演会の開催

皆でこの問題を学習して来ました。部会開催の中で、相互の信頼関係も生まれ、連携による具体的成果も出てきております。

核家族化と言われて50年。ドリームハイツでも地域運営協議会が実施したアンケートによると、全世帯(2270世帯)のうち1人暮らし家庭が20% 400人以上に及ぶという結果がでました。核家族化の50年後が独居世帯、あるいは高齢者夫婦世帯の増加につながった気がします。

今後見守りネット部会では、「1人ひとりを孤立させない取り組みをしていきたい」「具体的にはどんな事に取り組んだら命綱になれるだろうか？」と課題は沢山あると思いますが、来年度は「見守りネットセンター(仮称)」実現に向け、その組織、機能、場所、情報管理、等等について具体化していきます。



※運営協議会のメンバー※

県ドリームハイツ自治会・市ドリームハイツ自治会・ドリーム地域給食の会・NPOふれあいドリーム・NPOいこいの家夢みん・NPOふらっとステーション・ドリーム・地域のつどい・NPOドリームの丘、の各代表と、横浜市役所・戸塚区役所がメンバーとなって活動しています。

※その他の部会紹介※



◇ ビジョン部会

住民公募で新たに多彩なメンバーが集まって下さり、住民アンケートの整理・分析が始まりました。その整理の方法にもアイデアが出てきます。これから、課題ごとに緊急度や重要度、解決の困難度、実行担当者なども協議していきます。

これまでの過程で、ハイツのIT化の提案も出てきました。若い人達の地域参加が期待できそうです。

◇ 福祉部会

福祉関係の団体が連携して、今年度は講座や研修のスケジュール等の調整、協力を行いました。1年で9件19日にわたる講座を開催しました。おかげで開催時期が重なる事もなく、健康講座が「給食の会」から「夢みん」に引き継いで行われるなど、成果がありました。

次年度も各団体が実施したいこと、地域で必要なことを協議していく予定です

今後「エリマネニュース」では、地域運営協議会の情報、地域の諸団体の情報を載せて、皆さんに楽しく読んでいただけるものにしていきたいと考えています。

そこで「エリマネニュース」の記者(記事を集めてくださる人)、レイアウトをしてくださる人、印刷、配布をしてくださる人を募集しています。

—創刊号—

発効日：平成21年2月15日

発行者：地域運営協議会

連絡先：045-307-3558

発行責任者：泉 一弘

広報連絡先

ふらっとステーション・

ドリーム内

地域運営協議会 松本和子

045-307-3558